


～困難事例解決のための面接技法～ ナラティブ・アプローチ

<b>日程</b>	令和2年1月29日(水) (10:00～16:00)
<b>対象者</b>	介護福祉関係者 及び興味のある方 推奨職員:(中級～上級・全般)
<b>料金</b>	会員(法人・個人)8,000円 ・ 一般10,000円
<b>会場</b>	振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階) *みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩5分

「ナラティブ(narrative)」とは、当事者が紡ぐ「物語」や、経験にもとづく「語り」を意味します。その物語は、その方の悩みや抱えている困難によって同じ経験をして、違う形で語られます。  
本研修では、個々に違う語りを、介護関係者としてのアプローチの方法や物語の意味を理解し、利用者や家族とのより良い関係を築きながら、その方の問題を探り、対人援助を始める方法を学びます。

【 講 師 】

**駒澤大学**  
**教授 荒井浩道**



1973年、群馬県生まれ。早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)、社会福祉士。早稲田大学助手、駒澤大学専任講師、准教授等を経て現職。  
東京都公立学校スクールカウンセラー、泉龍寺副住職等を兼務。  
シニア社会学会理事、日本社会福祉学会代議員、日本認知症ケア学会代議員。著書に『ナラティブ・ソーシャルワーク “〈支援〉しない支援”の方法』(単著、新泉社、2014年)、『ピア・サポートの社会学—ALS、認知症介護、依存症、自死遺児、犯罪被害者の物語を聴く』(共著、晃洋書房、2013年)など。日本老年社会学会奨励賞受賞(2012年)。

《カリキュラム》  
\*ナラティブ・アプローチとは

\*困難事例を支援する

\*ナラティブ・アプローチを  
活用した面接技法

ナラティブ・ソーシャルワーク

通常の支援では対応できない「困難事例」を想定し、関係者との面接時におけるアプローチや支援方法をロールプレイ等にて実践演習します。

～複雑な物語をつむぐ～

- ・ 支援を拒否する方の物語
- ・ 認知症の方の物語

～問題の中の例外を探る～

法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	( ) 会員	( ) 個人会員	( ) 一般
個人会員番号			

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行  
**FAX: 045-671-0295**  
TEL: 045-210-0788  
〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒	—		( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )
	〈mail〉		@	
	〈電話〉	—	—	〈ファックス〉 — —
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係( ) ⑩ その他のサービス( )			

<参加者名簿>

お申込合計人数 ( 名 )

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1. 会員(¥ 8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2. 個人会員(¥ 8,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	3. 一般(¥ 10,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		1. 会員(¥ 8,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	2. 個人会員(¥ 8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		3. 一般(¥ 10,000)
			⑧その他( )		1. 会員(¥ 8,000)
					2. 個人会員(¥ 8,000)

連絡事項	
------	--